本年度の重点目標		【スローガン】			
		「自分がすき・みんながすき・学校がすき」			
		① 安全で安心して学べる学校づくり			
		^ ② 働きやすい職場づくり			
		③ 個に応じた指導の充実			
		④ つながりのある教育活動の実践			
項目					
担当	重点目標	具体的方策	留意事項		
	④校内掲示板や広報	・学校だよりやホームページ、グループ	・部だよりなどに重複した内容がない		
	活動の充実	ウェアを有効活用する。	か、必要な情報を精選して掲載してい		
総			<.		
務			・ホームページ、グループウェアの活用の		
			際は、個人情報に関する掲載内容に特に		
			留意し、配信を行うようにする。		
	④つながりのある教	・小学部、中学部、高等部のつながりの	・部をわたる学校行事の連続性について、		
±4-	育活動の実践	ある教育課程を目指し、児童生徒の実	ねらいや学習内容の整理、検討を進め		
教		態を踏まえつつ検討を進める。教科・	る。		
務		領域会を中心に3部間の指導内容の	・令和8年度の児童生徒数減少を見据え		
		系統性や教科の横断性を盛り込んだ	て学習形態の変化を想定しながら検討		
		年間指導計画を検討していく。	する。		
	①防災計画の見直し	・巨大地震の発生に備え、身を守るため	・防災訓練を繰り返し行い、身を守るため		
	を図る	の具体的な行動や避難方法などを計	の安全行動を定着できるようにする。		
生		画し、児童生徒、教職員に周知する。	・防災計画について教職員等から幅広く		
徒			意見を集約し、より実践的なものとな		
指導	⊕いじめの防止	・学校いじめ防止基本方針に基づき、児	るようにする。		
₦		童生徒相互が好ましい人間関係をつ	・いじめ・不登校対策委員会などをとおし		
		くれるようにする。	て関係する職員で情報を共有し、早期		
			発見・早期対処に努める。		
進	②キャリア教育の充	・進路に関わる情報発信を充実させ、校	・部や進路希望に沿った最新の進路情報		
路	実と地域連携	内、関係諸機関との情報交換を密に行	の提供や、内容の精選に努める。		
指		う。			
	①安全な教育環境の	・緊急時対応の体制や方法を整え、児	・緊急時対応の方法を確実に職員に周知		
保			環 し、円滑な対応ができるようにする。		
健 体		境を構築する。	・緊急時対応の体制や方法、緊急時対応セ		
育			ットの見直しを行い、より 安全 な対応が		
			できるような環境づくりをする。		

	③教職員の専門性の	・現職研修を充実させる。	・専門性と指導・支援力の向上を目指し		
研	向上	・全校研究を充実させる。	て、他の校務と連携したり外部専門家		
	1-3-2		を招いたりすることで、指導・支援のヒ		
修			ントを得ることができるようにし、授		
			業の充実を図る。		
	②教員の情報活用技	・教員用タブレットパソコン、視聴覚機	- 、		
	能およびセキュリ	器等の利用について、有効活用やト	定期的に情報提供や注意喚起を行う。		
		る寺の利用に パ、C、有効活用や下 ラブル等への日常的なサポートを行			
情	ティ意識の向上		・情報部職員が自己研鑽に努める。		
報		う。 切び込みな、小は大学知ないのは様々			
		・担任や学年、生徒指導部等との連携を			
		密にして、情報モラル教育を進めてい ,			
		<.			
教	③センター的機能の	・地域の保護者や教員を対象に、たんぽ	・担当者同士で事例検討を重ねたり情報		
育	向上	ぽ相談や支援指導検討会等の相談活	や知識を共有したりして、各活動の内		
支援		動や研修会等を実施する。	容を充実させ、相談担当者のスキルア		
1/X			ップを目指す。		
_	③学習指導支援の充	・一貫性、継続性のある指導を行うため	・「流れ図」や年間指導計画の見直しを行		
自立	実	に、「流れ図」や年間指導計画等を活	う。		
活		用する。	・現職研修等を活用し、「流れ図」や年間		
動			指導計画の作成手順を共通理解できる		
			ようにする。		
١.	③生活習慣や日常生	・二学年ごとの長期的な視点に立ち、P	・校内研究と関連付け、効果的な学習内		
小学	活における基本的	DCAサイクルに基づいた授業の改	容や指導方法について共通理解を図り、		
部	な力の育成	善、指導・支援の充実を図る。	学習計画全体を見直し、必要な改善を図		
			る。		
	①生徒全員が「分か	・生徒の実態や障害の特性に合った題	・生徒自身が扱いやすく、また、「やって		
	った」「できた」	材や単元を考えたり、ICTを始めと	みたい」と思えるような題材設定や内		
中学	「やってみよう」	した教材・教具の工夫や環境整備をし	容の工夫、教材・教具の開発に努める。		
部	と思える授業づく	たりすることで生徒自身が課題を理			
	ij	解し、自分から取り組めるようにす			
		る。			
	③自立と社会参加を	・学校生活におけるさまざまな行事や	・集団を生かした授業や行事の取組をエ		
	実現する力の育成	活動を通して、主体的に学び、課題を	夫し、生徒の学習意欲や興味・関心を高		
高		解決していく力を育成する。	め、主体的に学ぶ力や課題を解決する		
等部			力を育成するとともに、互いを認め合		
ПP			い、好ましい人間関係を構築できるよ		
			うにする。		
学校関係者評価を実施する		○笑顔のある安全・安心な学校づくり(
		○ ○ 令和8年度小牧特支への期待感をもった円滑な移行			
	主な項目	○児童生徒の学びを最優先した教員業務の見直し			
	○ル里工成ツナリと取陵ルした秋貝未物ツル旦し				